

平成 21 年度 電力・エネルギー部門大会（B 部門大会） 募集型座談会
「日本型スマートグリッドを考える」

背景

米国オバマ政権のグリーンニューディール政策の中で、スマートグリッドがその一つの柱として取り上げられ、様々なプロジェクトの提案や実施、ベンチャー企業の参入などが始まっている。また、IEEE でもスマートグリッドについて、技術委員会や新規 Transaction の検討など、活発な取り組みを開始している。一方、欧州でも欧州大の研究開発の枠組み FP7(Seventh Framework Programme)においてスマートグリッドが取り上げられ、研究が進んでいる。また、こうした動きを受けて、韓国、中国、台湾などアジア諸国も、それぞれの観点からスマートグリッドに関し、独自の取り組みをスタートさせている。

わが国においても、低炭素社会の実現に向けて、わが国にふさわしい次世代の系統を模索する動きが大学や研究機関などで始まっており、この機会に、関係者や興味を持つ研究者が、我が国にとっての次世代の系統について議論を深め、共通認識をもつことは重要と考える。

趣旨

わが国の次世代の電力系統についての研究構想を持つ大学や研究機関などから、その内容を紹介していただき、関係者や興味を持つ研究者の間で議論することで、我が国のスマートグリッドのあり方について認識を深めるとともに、研究の方向性を探り、ひいては電力エネルギー分野の活性化の一助とする。

プログラム

・日時 平成 21 年 8 月 18 日（火）

10:00 ～ 12:30 （参考）午後のセッションは 14:00 開始

・場所 芝浦工業大学 豊洲キャンパス 教室棟 4 階 404 教室

・プログラム （司会進行：栗原 郁夫 氏（電力中央研究所））

(1) パネリストによる発表 (10:00～11:45)

- ・「スマートグリッドと NEDO のスタンス」……………諸住 哲 氏 (NEDO)
- ・「東大におけるユビキタスパワーネットワークの研究」……………谷口 治人 氏 (東京大学)
- ・「東工大におけるスマートパワーネットワークの研究」…赤木 泰文 氏 (東京工業大学)
- ・「電中研における次世代グリッド(TIPS)技術の開発」…小林 広武 氏 (電力中央研究所)
- ・「スマートネットワークのなかでの分散形電源の活用」……………進士 誉夫 氏 (東京ガス)
- ・「新計量システム導入の取り組み」……………井村 英樹 氏 (関西電力)

(2) パネリスト/会場によるディスカッション (11:45～12:30)

以上